

【児童へのお話】

早いもので、二学期が今日で終わります。二学期は84日間学校に来たことになります。よく頑張りましたね。明日からいよいよ実質13日間の冬休みです。あとななつ寝るとお正月ですよ。

ところで皆さん、お正月って、なんで「お正月」って言うか、知っていますか？今日はお正月の豆知識を教えてください。

昔の中国に、「秦（しん）」という大きな国がありました。その国の皇帝である始皇帝（しこうてい）が、「新年の政治を始める月」という意味で、「政月（セイグツツ）」と名付けたのが、似た音の「正月（シャウグツツ）」という言葉へと変化したものと言われています。

ちなみに正月は、もとは「冬至を過ぎた最初の満月の日から始まる月」のことを指したそうですが、現代では元日が満月であるとは限りません。新年最初の満月はウルフムーンと呼ばれ、来年は1月3日がその日に当たります。空気が澄んできれいに見えると言われているので、新年3日目の夜、ぜひお月様を見てみてくださいね。

お話を「お正月」に戻しますが、お正月とは、「新しい年の始まりに希望や決意を改め、新しく出発する月」という意味の言葉です。では今、希望や決意を改め、新年の最高のスタートが切れるよう、2学期の自分を振り返ってみましょう。

この2学期、一日ひとつ、学校でのお勉強を頑張って「すすんで考える子」になれましたか？一日ひとつ、人のためになることをして「明るく思いやりのある子」になれましたか？一日ひとつ、自分が元気になることをして「強くたくましい子」になれましたか？皆さんが今日まで頑張ってきたこと、楽しみながら取り組んできたことは、ひとつも無駄にはなりません。自分の成長のために努力を続ける皆さんを、校長先生は誇りに思っています。そして、3学期も、頑張る皆さんと学校で過ごせるのを楽しみにしています。令和8年1月8日、また元気で会いましょう。皆さん、よいお年をお迎えください。

【本講話について】

本講話では、2学期を振り返り、新年に向けた前向きな目標が考えられるよう、「お正月」の語源の紹介をしました。243人の落五の子は、日々大きく成長してきました。ご家族のように間近で見ていると分からない成長も多々あると思います。この冬休みの期間に、この1年間をご家族で振り返って褒め合ったり、新年の抱負を伝え合ったりする『家族団らんの時間』をもっていただけると幸いです。

3学期の教育活動は、3か月51日間しかありません。一日一日を大切に、子どもを心身共に成長させる実りある時間にしていきたいと思います。来年もご協力ください。それでは皆様、よいお年をお迎えくださいませ。